

『発達ワークディスカッション』

本研修のテーマは乳幼児期の子どもの『発達』です。

乳幼児期は、匂い、手触り、音など言葉以前の身体感覚を通じた触れ合いや、生々しい情緒にさらされながら、人と人との関係性が構築される時期です。

本研修では、子どもとのやりとりにきめ細やかな注意を向け、精神分析的な観察とアイデアを活かして、子どもと家族について理解を深めます。少人数での文献のディスカッションと事例検討の二部構成です。

- ◆文献パートでは、子どもの発達を理解に示唆の深い文献を取り上げディスカッションします。発表担当はなく、自身の読む体験をもとに感想や意見、連想、臨床への示唆を自由に交わします。
- ◆事例検討では、心理療法設定に限らず乳幼児医療、母子保健、保育、療育機関、乳児院、児童養護施設など、周産期から乳幼児に至る現場での臨床素材について精神分析的視点で検討します。

職場の背景や文化、参加者の経験と想像力が尊重される場を目指します。講師に教わるのではなく、参加者が互いに対等な立場でディスカッションし、一緒に考える機会に、ぜひ参加してみませんか？

当日の流れ

第1回 10:00 ~ 12:40 (160分 休憩10分含)
第2回 14:00 ~ 16:40 (160分 休憩10分含)

1	オリエンテーションと自己紹介
2	文献ディスカッション
文献 ※1日2回開催で、それぞれ取り上げる文献が異なります。両回参加することもできます。 ・第1回：グレイアム・ミュージック 「子どものこころの発達を支えるもの：アタッチメントと神経科学、そして精神分析の出会いと場所」誠信書房 ・第2回：ジョン・ラファエル・レフ 「母子臨床の精神力動：精神分析・発達心理学から子育て支援へ」岩崎学術出版	
3	事例検討
ファシリテーター：村田朱美（日本赤十字社医療センター、臨床心理士・公認心理師） 中岡裕美（こども・思春期メンタルクリニック、臨床心理士・公認心理師） ※いずれもサポチル認定 子どもの精神分析的心理療法士	

申込み概要

定員数：各回10名程度

対象者：臨床心理士、公認心理師、臨床発達心理士、医師、
看護師、助産師、保健師、保育士、幼稚園教諭、それらに準ずる専門家

受講料：各3,000円

申込締切：2024年8月31日(土) 入金先着順にて締切

※申し込みは1枚目のQRコード、もしくは以下のURLよりお申込みください。

<https://forms.gle/PSJNFcLYGZMKm7zRA>

※ご入金後の返金につきましては、いかなる理由でも応じておりません。